

過去問分析例 < 教育大学附属中学校・平成14年度入試対策・算数 >

- ・5年～10年分の過去問を分析して、学習すべき内容を限定します。
- ・時間配分を考えて問題を解く順番を決定します。途中で時間切れになっても取りこぼしがないようにします。

【学習内容】	【問題番号】	【注意点】 25分で解けるように仕上げます
整数計算	問1・2	塗りつぶし算で正確に 計算式を余白に書いている時間はない
小数分数計算	問1・2	分数の形にして解く 小数は分数にする・割算は掛算にする
虫食算の方程式	問1・2	を未知数aとして方程式を立式 未知数をaと書いて計算
1次方程式	問1・2	時間の換算に注意 未知数をaと書いて計算
公倍数・公約数	問1・2	平行割り算で一気に解く 「全てに共通公約数・1になるまで公倍数」
場合の数	問1・2	表か樹形図をすぐに書く 考え込むようならスキップする・立ち止まらない
規則性の方程式	問1・2	回目、番目の を未知数aとして方程式を立式 文中の数字を参照
表を使った方程式	問1・2	未知数をa,b,cとして立式 比例式を使うことが多い
割合%問題の方程式	問1・2	÷100を忘れずに 文章通りに立式する・直ぐに図を書く
方程式の文章問題	問3	一読して文章通りの方程式を立てて解く・比例式の利用も多い
比例式のグラフ	問4	分かる数値を全てグラフに書き込んでからグラフで解く パターン分けは全パターンの略図を書く 作図の練習
立体図	問5	分かる数値を全て図に記入してから解く 立体図は平面図にする・展開図は立体図にする 切取図形は「全体一部分」で計算する 「何倍」は未知数をaとして計算する 最終的には約分でaは消える
平面図形	問6	正三角形・直角三角形(3:4:5)(1:2)(1:1)と比例式 相似比を利用 分かる数値を全て図に記入してから解く 比(～倍)の問題は分からない1辺をaとして解く

【注意】問題を解く順番を間違えると時間切れになるので下記の順番を守ること。<個人の得意不得意で変わります>

< 解答順番 >	< 分析に使ったデータ >
1. 四則計算(2問)	・平成09 平均点の表      ・平成10 度数分布表・%
2. 公倍数(1問)	・平成11 割合の表・%
3. 方程式(2問)	・平成12 割合の表・%
4. 規則性の問題(1問)	・平成13 タイルの図・1次関数      ・平成09 方程式の文章問題
5. 割合(2)	・平成10 方程式の文章問題      ・平成11 方程式の文章問題
6. 方程式の文章問題	・平成12 方程式の文章問題      ・平成13 方程式の文章問題
7. 立体図形の(1)	・平成09 比例のグラフ・時間・距離・時速      ・平成10 比例のグラフ・時間・長さ・面積
8. 平面図形の(1)	・平成11 比例のグラフ・時間・深さ・容量      ・平成12 比例のグラフ・時間・距離・時速
9. グラフの(1)(2)	・平成13 比例のグラフ・時間・グラフ・面積
10. 立体図形の(2)	・平成09 立体の展開図・直方体・三角柱・辺・表面積
11. 平面図形の(2)	・平成10 立体図・直方体・表面積
12. グラフの(3)	・平成11 立体図・直方体・三角柱・高さ・表面積
この順番で解けば途中で時間切れになっても取りこぼしはありませんので、時間を気にしないで問題に集中しましょう。	・平成12 立体図・直方体・三角柱・高さ・表面積
	・平成13 立体図・円錐・円柱・高さ・表面積
	・平成09 折り返した平面図形の面積・比 三角形の辺の比(1:1/12/3:4:5)
	・平成10 折り返した平面図形の面積・角度 三角形(30° 60° 90°)(辺の比1:2)
	・平成11 平行四辺形の平面図形の面積・何倍・角度 正三角形(辺の比1:2)(60°)
	・平成12 円と多角形の平面図形の面積・角度 正三角形(辺の比1:1)(60°)(45°)
	・平成13 三角形の相似の平面図形の面積・比・角度 三角形(30° 60° 90°)(辺の比1:2)
正円と正多角形(角度を問われる) 平面図形	